

子ども食堂の取り組みスタート! ~ほっとスペースまちの縁がわ「木・々」

西東京市

「まちのほっとスペース」は、居場所としての「スペース事業」、困りごとの「相談事業」、生活上の「ほっとサービス事業」の3事業を基本にしています。

笑顔あふれる食事風景



ダ・おにぎり or パン・みそ汁」のランチを、子ども無料、大人 300 円で提供しました。

「木・々」は、子どもたちの通学路にあり、信号待ちで立ち止まるところ。そんな立地を活かして、下校途中の子どもたち自身に直接声掛けし、チラシを手渡しました。市の会館に置いたり、近隣でのチラシまきも行いました。当日は大人 21 人、子ども 24 人の参加がありました。50 食前後を想定していたので、ほぼ予想どおり。「貧困でつらい日々を過ごす子どもたちにすぐにはたどり着けないけれど、『子ども食堂』を開くことで、いつか来てくれればいい」そんな思いでスタートした子ども食堂。次回は宿題の追い込みサポートも予定しています。

コミュニティレストラン「木・々」は、活動 14 年めの今年、「西東京・ワーカーズ・まちの縁がわ」を設立。介護者支援の「ケアラズカフェ」、ちょっとした生活面の支援をする「ほっとサービス」等を行い、7 月から「子ども食堂」の取り組みをスタートさせました。生活困窮だったり、親が忙しくて一人で食事をとるような子どもが、一人でも来られる居場所をめざしています。

しかし、そうは言ってもまずは「子ども食堂」を知ってもらうことが大事。そこで、対象は広く小・中学生としました。1 回目は夏休みに合わせ、7 月 26 日(日)、11 時半から 2 時まで実施。「コロック・マカロニサラ



「宿題? もう終わったよ」元気な小学生のグループ

◆ ほっとスペースまちの縁がわ「木・々」◆

住所：西東京市保谷町 6-25-1
保谷郵便局バス下車すぐ
電話：042-425-6800
<http://mokumoku39.web.fc2.com/>

※ インクルーシブ事業連合主催及び会員団体主催の企画や講座をご案内します。

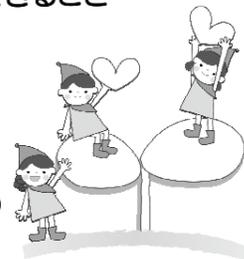
インフォメーション

生活クラブの学校企画・子育て支援共育講座

地域を変える 子どもが変わる 未来が変わる!

子ども食堂・学習支援の取り組み事例と私たちにできること

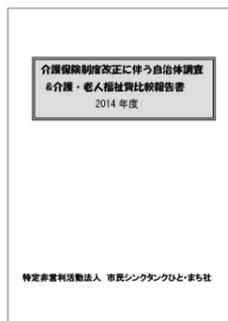
- 【主催】インクルーシブ事業連合・子育て支援委員会
- 【日程】2015 年 11 月 14 日(土) 14:00~16:00
- 【会場】生活クラブ館・地下スペース 世田谷区宮坂 3-13-13 (小田急線・経堂駅徒歩 3 分)
- 【講師】栗林知絵子さん NPO 法人豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク理事長
- 【参加費】500 円【お申込み・お問合せ】インクルーシブ事業連合事務局 (生活クラブ・東京内)
TEL: 03-5426-5207 FAX: 03-5426-5203



子どもの心を理解し、ともに支えよう ~思春期、青年期~

- 【主催】NPO 法人アビリティクラブたすけあい
- 【日程】11 月 15 日(日) 13:15~16:00
- 【会場】武蔵野商工会議所 ゼロワンホール
- 【講師】児童精神科医 高岡 健氏 (日本児童青年精神医学会 理事)
ひきこもり、不登校、青少年問題に関する著書多数
- 【お申込み・お問合せ】NPO 法人アビリティクラブたすけあい
TEL: 03-5302-0393/FAX: 03-5302-0394

「介護保険制度改正に伴う自治体調査 & 介護・老人福祉費の比較」報告書



一部 1,000 円
A4 版 144 ページ
お求めは、市民シンクタンク
ひと・まち社まで
TEL 03-3204-4342
FAX 03-6457-6202

市民版地域福祉計画 作成中! ~生活クラブ運動グループ府中地域協議会

生活クラブ運動グループ・府中地域協議会では、2014 年度から「市民版地域福祉計画」の策定を進めています。インクルーシブ事業連合が提案している「市民版地域福祉計画」は、日常生活の課題に対し、ひとりでは解決できないことを生活クラブ運動グループの仲間や地域の団体と連携することで解決していくための行動計画です。

今、社会では、子どもから高齢の方までの地域の課題とニーズは多様化し、市民自らが市民の目線で地域福祉を考えることが必要になっています。すべての世代・状況の人たちが、安心していきいきと暮らすことができる豊かなまちづくりをすすめ、更に次世代へつなげていくために、地域協議会の各団体の経験と知恵と強みを寄せ集め、地域のニーズを満たす「しくみづくり」を「市民版地域福祉計画」の基にすすめていきたいと考えました。

2014 年度は、地域協議会の中に市民版地域福祉計画策定プロジェクトを立ち上げ、地域の課題の把握と解決方法を検討しました。府中市の地域協議会の構成団体は、7 団体と少なく、策定に向けた活動の広がりをつくるために、2 月には拡大地域協議会として、「まちづくりカフェ」を開催、構成団体からの多数の参加者でテーマを絞

り込んだワールドカフェ方式のワークショップを行いました。子どもや高齢者をテーマにした福祉分野で意見として多く上がったのは、気軽に立ち寄れる、人とつながる「居場所」でした。そこで今年度は、地域協議会主催の居場所企画を開催し、その中で、市民の方や地域の団体を巻き込んだ「まちづくりカフェ第二弾」を「居場所」をテーマとして行い、様々な意見を基に「市民版地域福祉計画」の策定をすすめていく方向で活動しています。

大勢の参加で盛り上がったまちづくりカフェ



府中地域協議会は小規模ではありますが、発信拠点として地域の方を巻き込み、人とのつながりを大切にしながら、市民主体のまちづくりの実現に向け、希望を抱けるような活動をしていきたいと思っています。

NPO・ACT 府中たすけあいワーカーズぽ ♡ぽ
奥村 幸子

インクルーシブ 事業連合の構成団体を紹介します 市民シンクタンク ひと・まち社

地域包括ケアシステムの構築に向けた 新総合事業の利用者・自治体調査 10月スタート!

ひと・まち社の主な事業は、調査研究と東京都福祉サービスの第三者評価です。1999 年より生活クラブ運動グループで取り組んだ「介護保険制度検証のための基礎調査」をきっかけに評価事業に参入し、福祉に特化した NPO として活動しています。

調査研究活動では、「介護予防・自立支援に関する高齢者実態調査」をはじめ高齢者福祉と子育てに関する調査を実施してきました。2015 年度の介護保険制度改正では介護予防事業が「新総合事業」として再編されることを受け、昨年、アビリティクラブたすけあい(ACT)や東京・生活者ネットワークとの共同調査を行い、「介護保険制度改正に伴う自治体調査&介護・老人福祉費比較報告書」としてまとめています。新総合事業の開始時期は自治体ごとに違いますが、進め方の検討や地域の社会資源の発掘・育成などが始まっています。ひと・まち社では、利用者の状況や自治体の取り組み状況を知るために、今後、3 年間の継続調査を行います。

★ シンポジウムを開催します! (仮)「新総合事業でまちづくり」

地域の福祉づくりにつながる「新総合事業」は、地域を知る市民自身の手で創りだすことがふさわしいのではないのでしょうか。高齢者自身の生活文化を大切にしながら地域で暮らせるよう支援している実践事例を紹介し、市民が「新総合事業」を創造するための機会とします。

- 【日程】9 月 30 日(水) 13:30~16:30
- 【会場】武蔵野市 武蔵野公会堂 (JR 線・井の頭線 吉祥寺駅南口徒歩 2 分)
- 【基調講演とコーディネーター】

- 藤井賢一郎さん 上智大学准教授
- 【パネリスト等】
- ・田中潤さん (東久留米市福祉保健部介護福祉課長)
- ・戸山ハイツ「暮らしの保健室」の実践から (予定)
- ・光岡明子さん (NPO 法人せたがや福祉社 -セター-)
- ・市民事業をどのように広げるか/NPO 法人アビリティクラブたすけあい (ACT) の実践から (居場所)

仮認定 NPO 法人市民シンクタンクひと・まち社
新宿区歌舞伎町 2-19-13 ASK ビル 6 階
TEL: 03-3204-4342 FAX: 03-6457-6202
<http://www.hitomachi.org/>